

合肥 NOW

合肥の戦いで知られるこの町は、まだまだ、発展の余地がある、豊かでおおらかな町のように感じました。



▲合肥の位置

合肥が注目される理由

2010 年ごろから、沿岸部の給料と、家賃が高騰し、これまで、上海近郊で生産し、日本へと輸出するといったビジネススタイルが難しくなりました。そこで、上海から、さらに内陸部にあり、しかしアクセスのよい合肥が着目されています。



合肥の位置、基礎情報

合肥は、安徽省の省都です。2014 年の統計によりますと、安徽省の人口は 6083 万人で、総合面積は 14 万平方 km です。そのうち、合肥市の人口は、712.81 万人、面積は、1.14 万平方 km あります。上海市と同じ、華東地域に属しており、上海から新幹線で、片道 3 時間程度です。

▲合肥の観光地 李鴻章故居

合肥の産業

合肥の主要産業は、家電産業で、生産量が全国で第 1 位です。中国で非常に有名な家電メーカーである、美的や、ハイアールなどが合肥を生産の拠点しています。

さらに、自動車部品産業も栄えています。



▲合肥の観光地 淮河路步行街

合肥の生活

合肥のある、安徽省は、1 次産業も盛んであり、安徽省で生産した、作物を上海で売っているような状況です。だからか、合肥で食べる野菜などは、新鮮感があり、おいしいように感じました。

合肥は土地も広く、まだまだ開拓の余地もあり、街計画が上海とは異なり、古い街を壊して、新しい街を作るのではなく、古い街とは、完全に違う場所に新しい街を作っているということです。古い街は、非常に老朽化が進んでおり、新しい街は、非常に近代的で上海と同じようなレベルのデパート、マンション、オフィスが立ち並んでいました。

しかし、家賃などは、上海と比較すると安価で、普通のサラリーマンでもマンションを購入できるということです。

また、合肥の人々は、人柄も穏やかで、非常に親切であると感じました。



▲合肥の観光地 徽園

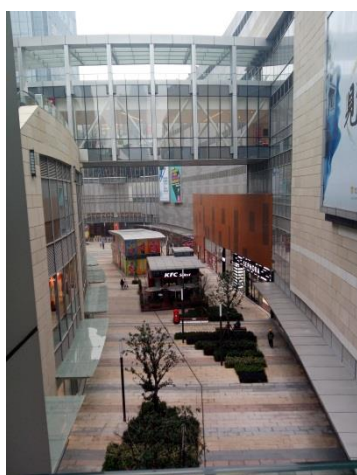
合肥と日本

外国企業は、約 2000 社合肥に進出しており、日本企業は約 60 社ということです。合肥には、日本語学科のある大学が、3 校あり、日本語人材を探し求めやすい環境であるといえます。しかし、合肥で学び、南京や、上海と言った都会によりよい職を求めて人材が流出していくのを今は防ぎきることができない状況にあります。

合肥における、日本人は、これまで組織化されておらず、2015 年初頭に合肥日商倶楽部が結成され、日本企業と中国人で日本語を学習する学生との交流会を今後活発に行っていくということです。

このような活動が、今後優秀人材流出の抑止にもなり、かつ日系企業にとっても有益であるように思います。

今後、日系企業にとって、さらに利便性のある合肥に変わりつつあります。



▲万象城



▲天鹅湖商圈